

命令

厚生省 標號 合議先番 受送月日

第	第
號	號
送	送
受	受
月	月
日	日

甲乙ノ種類

起案 昭和二十一年三月九日

判決
月
日
合校
行施
月
日

受局 付課 月第 日號

月 日

大臣

部長

主査 理事官

次官

總務課長

會計課長

審査委員

伺

地方引揚援護局官制ニ依リ命セラレタル厚生省  
外ノ職員ノ身分ニ關シ省令制定ノ件  
引揚援護院設置ニ際シ從前ノ規定(地方引

めくれず

合議先番號受送日		
第 號 送 受 月 日	第 號 送 受 月 日	第 號 送 受 月 日
	21. 3. 16 官報	
<p>◎厚生省令第十二號 引揚援護院官制第三條ノ規定ニ依ル厚 生部外ノ職員ニ關スル件左ノ通定ム</p> <p>昭和二十一年三月十六日 厚生大臣 廣田 均</p> <p>引揚援護院官制施行ノ際現ニ關係各 高等官又ハ聘任官ノ中ヨリ地方引揚 援護局長又ハ地方引揚援護局授課官 補ヲ命セラレタル者別ニ附令ヲ發セテ レザルトキハ地方引揚援護局長又ハ 引揚援護局長授課官又ハ地方引揚援護 局長補ハ引揚援護院授課官補ヲ命 セラレタルモノトス</p>		
<p>揚援護局官制第四條第四項ニ依リ命セラレタ ル者ノ身分ニ關シ省令制定ノ要アリ依テ別案 ノ通決定相成可然哉</p> <p>仰高裁</p>		

57

省令案

厚生省令第十二號

官報登載  
21年3月16日

引揚援護院官制第三條ノ規定ニ依ル厚生部外ノ職員ニ  
關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年三月十七日

厚生大臣

引揚援護院官制施行ノ際現ニ關係各廳高等官又ハ

判任官ノ中ヨリ地方引揚援護局援護官又ハ地方引揚援  
護局援護官補ヲ命ゼラレタル者別ニ辭令ヲ發セラザルト  
キハ地方引揚援護局援護官ハ引揚援護院援護官  
ヲ、地方引揚援護局援護官補ハ引揚援護院援護  
官補ヲ命ゼラレタルモノトス

勅令第 號

第一條 引揚援護院ハ厚生大臣ノ管理ニ屬シ今次ノ戦争ノ終結ニ依リ内地ニ樺太、沖繩及千島ヲ除ク以下同ジ以外ノ地域ヨリ内地ヘ引揚ゲタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚ガル者以下引揚者ト稱ス、應急援護及檢疫ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 引揚援護院ニ左ノ職員ヲ置ク

長官 勅任

次長 勅任

局長 勅任

地方引揚援護局長 二人

地方引揚援護局次長 二人

援護官 專任 十一人

技師 專任 百八十八人

技師 專任 二百十五人

援護官補 專任 三百九十二人

技師補 專任 三百六十四人

援護局長ハ次長ヲシテ之ヲ兼ネシム

大臣ハ關係各廳高等官ノ中ヨリ援護官ヲ、關係各廳判任官ノ中ヨリ

參照條文

第三條 前條ノ職員ノ外地方引揚援護局ノ事務ニ從事セシムル為厚生大臣ハ關係各廳高等官ノ中ヨリ援護官ヲ、關係各廳判任官ノ中ヨリ

援護官補ヲ命ズルコトヲ得

第四條 引揚援護院ニ援護局及醫務局ヲ置ク

第五條 厚生大臣ハ院務ノ一部ヲ分掌セシムル為地方引揚援護局ヲ設クルコトヲ得其ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第六條 地方引揚援護局長ハ當該地方引揚援護局ヲ置ク地ヲ管轄スル地方長官ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 地方引揚援護局ハ其ノ事務ヲ行フニ付必要アルトキハ當該地方ニ於ケル關係各廳ニ對シ共助ヲ求ムルコトヲ得

第八條 引揚援護院ニ參與ニ十人以上以内ヲ置キ院務ニ參與セシム

第九條 參與ハ厚生大臣ノ奏請ニ依リ學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第十條 參與ノ任期ハ一年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

第十一條 指揮監督シ判任官以下ノ進退ヲ專行ス

第十二條 局長ハ長官ヲ佐ケ長官專ラルトキハ其ノ



健康保険法施行令

昭和二十年勅令第五百四十六號

第二十三條 本令施行、際現ニ地方引揚援護局<sup>職員</sup>ハ職ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ地方引揚援護局次長ハ地方引揚援護局次長ニ、厚生書記官、厚生事務官及厚生理事官ハ引揚援護院援護官ニ、厚生技師及厚生省防疫官ハ引揚援護院技師ニ、厚生屬ハ引揚援護院援護官補ニ、厚生技師ハ引揚援護院技師補ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモ、トス

前項ノ規定ハ文官任用ノ資格ニ關スル規定ハ適用ヲ妨ゲズ

裏面白紙

地方引揚援護局官制

改正、昭二一、二二〇、勅九十一号

昭和二十年十一月二十四日  
勅令第六百五十一号

第一條

地方引揚援護局ハ厚生大臣ノ管理ニ属シ今次ノ戦争ノ終結ニ依リ内地(樺太、沖繩及千島ヲ除ク以下同ジ)以外ノ地域ヨリ内地ニ引揚ゲタル者及内地ヨリ内地以外ノ地域ニ引揚グル者ノ應急援護及檢査南スル事務ヲ掌ル  
地方引揚援護局ノ名稱及位置ハ厚生大臣之ヲ定ム

第二條

地方引揚援護局ニ左ノ職員ヲ置ク  
局長 十一人 奏任 内スヲ勅任トナスコトヲ得

援護官補

第三條

地方引揚援護局ハ第一條ノ事務ヲ行フニ付必要アルトキハ當該地方ニ於ケル關係各廳ニ對シ共助ヲ求ムルコトヲ得

第四條

地方引揚援護局長ハ當該地方引揚援護局ヲ置ク地ヲ管轄スル地方長官ヨリ以テ之ニ充ツ厚生大臣ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

地方引揚援護局次長ハ地方引揚援護局長ヲ佐ケ局務ヲ掌理ス

援護官ハ厚生部内高等官ヨリ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス



前項ノ外援護官ハ必要ニ應ジ關係各廳高等官ヨリ以テ之ニ充ツルコトヲ得  
援護官補ハ厚生部内判任官ヨリ以テ之ニ充ツ上官ノ指揮ヲ承ケ局務ニ從事ス  
前項ノ外援護官補ハ必要ニ應ジ關係各廳判任官ヨリ以テ之ニ充ツルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等官官位奉給令中ノ左ノ通改正ス

第八條中「厚生省研究所研究官」ノ次ニ「地方引揚援護局次長」ヲ第

十四條中「國立健康保險療養所調劑官」ノ次ニ「引揚援護局次長」ヲ

加フ

別表第一表「厚生省」部中國立少年救護院救護院長タルモノノ項ノ

次ニ左ノ如ク加フ

地方引揚援護局次長									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

省令案

厚生省令第 號

引揚援護院

官制第三條第四項ノ規定ニ依リ命ゼラレ

タル厚生部外ノ職員ニ關スル身介件左ノ通定ハ

年 月 日

厚生大臣

引揚援護院設置ノ際現ニ地方引揚援護局職員ノ職ニ在ル者

別ニ許令ヲ發セラレザルトキハ地方引揚援護局援護官

大日本帝國政府

タル厚生部外ノ職員ハ引揚援護院援護官ヲ、地方引揚

援護局援護官補タル厚生部外ノ職員ハ引揚援護院

援護官補ヲ命ゼラレタルモノトス



参考

昭和十八年内務省令第三十七號(樺太广森林林主事任用ニ関スル件)

昭和十八年四月七日  
内務省令第三十七號

樺太广森林林主事ノ任用ニ関スル件 左ノ通 定ム  
樺太广森林林主事ノ任用ニ関スル件ハ当分内仍従  
前樺太广長官ノ定ムル 樺太广森林林主事特  
別任用規程ノ定ムル所ニ依ル

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十七年四月十六日

厚生省令第二十二号

保険院簡易保険書記補特別任用規程左ノ  
通定ス

年 月 日

大 臣

以下略

裏面白紙

640

學生省令第 號  
引揚援護院官制第三條、規定ニ依ル學生部外ノ職員  
ニ關スル件、左ノ通定ム

昭和二十一年三月 日

厚生大臣 芦田 均

引揚援護院官制施行ノ際現ニ關係各廳高等官又ハ判任官  
ノ中ヨリ地方引揚援護局援護官又ハ地方引揚援護局援  
護官又ハ地方引揚援護局援護官補ヲ命セラレタル者別  
ニ解令ヲ發セラレザルトキハ地方引揚援護局援護官ハ引  
揚援護院援護官ヲ、地方引揚援護局援護官補ハ  
引揚援護院援護官補ヲ命セラレタルモノトス

◎厚生省令第十二號

引揚援護院官制第三條ノ規定ニ依ル厚生部外ノ職員ニ關スル件左ノ通定ム

昭和二十一年三月十六日

厚生大臣 戸田 均

引揚援護院官制施行ノ際現ニ關係各廳高等官又ハ判任官ノ中ヨリ地方引揚援護局援護官又ハ地方引揚援護局援護官補ヲ命ゼラレタル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ地方引揚援護局援護官ハ引揚援護院援護官、地方引揚援護局援護官補ハ引揚援護院援護官補ヲ命ゼラレタルモノトス